

1、保育理念

1	自分を素直に表現でき、情緒豊かな子どもを育てる。
2	あたりまえのことができ、ルールをまもれる子どもを育てる。
3	優しい気持ちか持て、協調性ある子どもを育てる。

2、保育目標

1	基礎的生活習慣を正しく身につけ、健康で安全に過ごす子ども。
2	心の優しさ、思いやり、勇気、感動を友だちと共有できる子ども。
3	人の話を聞いて、自分の気持ちを表現できる子ども。よく考え最後までやりとげる子ども。

3、本年度の重点目標

1	子ども主体の保育の提供
2	保育環境の配慮
3	保護者への情報発信、地域における子育て支援
4	職員の資質向上
5	小学校との連携

4、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子どもの発達援助	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、一貫した保育、教育を行う。
健康管理・食事	感染症予防や集団感染防止の情報を提供し、感染拡大を防ぐよう努めた。 乳幼児突然死症候群を防ぐため、顔の向き確認等や見守りをするよう努めた。 アレルギー対応は保護者と連携を取り、可能な限り個別対応を心がけた。
保育環境	室内外の危険箇所を点検し、アクシデントマップを作成する。事故・怪我防止に努めた。 災害時グッズをクラスごとに置き緊急時に備える。
情報発信	園だより・クラスだより・献立などをホームページに掲載し園内の様子を発信する。 地域や未就園児保護者に向けた情報発信を掲示する。
地域の子育て支援	園庭開放・サークル活動を実施している。
職員の資質向上	園内外の研修に積極的に参加し、保育内容の知識を深め保育に活かす。
関係機関との連携	小学校との交流や就学前の意見交換をする。

5、総合的な評価結果と今後の取組

B	<p>専門講師の研修は多くの職員が参加し、園全体で振り返り研修を行う。園外研修には積極的に参加し研修報告や記録を掲示し情報を共有、資質向上に努めた。</p> <p>食事提供全課程のシステムを作りアレルギーの誤食は皆無である。また、献立作成や調理等改善で残食が減る。</p> <p>緊急時の保護者への情報発信のシステムを構築する。</p> <p>地域子育て支援のサークル活動を見直し、充実した取り組みを行う。</p> <p>小学校（1校のみ）との交流時期の見直しと、他近隣小学校と交流ができるよう取り組む。</p>
---	--

評価結果の表示方法

A：十分達成されている B：達成されている C：一部検討を要する D：改善を要する